

## 臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院整形外科では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を承りますようお願い申し上げます。

研究課題名：ラグビーワールドカップ2019大会における観客救護に関する研究

### 1. 研究の概要

ラグビーワールドカップは、国際メガスポーツイベントであり、昨年日本で開催されたラグビーワールドカップ2019（第9回ラグビーワールドカップ）は日本全国の12会場で9月20日の開幕戦から11月2日の決勝戦まで全45試合が開催されました。観客総数1,704,443名、チケット販売率99.3%を記録し成功裡に閉幕しました。

本大会のようなマスギャザリングにおける医療体制の構築は近年重要視されており、入念な準備、コミュニケーション、確実なオペレーションの必要性が指摘されています。

マスギャザリングとは、日本集団災害医学会では「一定期間、限定された地域において同一目的で集合した多人数の集団」と定義されています。多人数の定義については、様々で1000人以上から2万5000人以上と幅広く、わが国では1000人以上としています。

このような国際メガスポーツイベントにおけるマスギャザリング医療に関する報告は少ないため、本研究では、ラグビーワールドカップ2019の全期間を基に、大会の医療システムの構築およびその運営と実績を解析し、今後の国際メガスポーツイベントにおけるマスギャザリングに対するメディカルサポートの構築と改善を考察することで、観客救護の準備状況および実態について検討することを目的とします。

### 2. 目的

本研究は、ラグビーワールドカップ2019における観客救護の準備状況および実態について検討することが目的とします。

なお、本研究は、マスギャザリングである国際メガスポーツイベント現場における救護体制に関する新たな知見を得ることを目的とする学術研究活動として実施されるものです。

### 3. 研究実施予定期間

この研究は、倫理委員会承認後から2020年12月31日まで行われます。

### 4. 対象者

2019年9月20日～2019年11月2日の期間に日本全国の12会場で開催されたラグビーワールドカップ2019の公式試合時においてスタジアム内に設置された観客救護室を受診した案件および後方支援病院へ救急搬送された案件を対象とします。なお、当初は48試合が予定されていましたが、台風のため3試合が中止となったため最終的な試合数は45となっています。

### 5. 方法

本研究で収集するデータは、日本全国の12会場で開催されたラグビーワールドカップ2019の公式試合時において、試合開催時にスタジアム内に設置された観客救護室を受診した症例および救護室担当医師の判断で救急搬送した症例の救護室内記録用紙を元に、症状や受診理由の内訳を解析します。救護室担当医師が作成した医療記録は「受診者個人毎に作成した記録書類 受診人数および主訴・症状の内訳を記録した日報ですが、今回使用するものは 日報のみであり個人情報を含みません。

### < 本学における個人情報責任者 >

宮崎大学医学部附属病院整形外科 田島卓也

### < 提供元の施設の名称 >

ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会 MAG  
日本ラグビーフットボール協会メディカル委員会委員

### < 提供元の責任者 >

ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会 TMD  
日本ラグビーフットボール協会メディカル委員長

## 6. 費用負担

この研究を行うあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

## 7. 利益及び不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

## 8. 個人情報の保護

本研究で使用するデータは、対象となる方の個人情報が含まれない形で加工されております。(「匿名化された試料・情報(どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る)」。)

## 9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、研究の独創性確保(あるいは、特許に関わる事象)に支障のない範囲内で情報開示を行います。

## 10. 研究資金および利益相反について

本研究は、実施責任者が所属する診療科の法人運営費で実施するため、利益相反<sup>注1)</sup>はありません。  
注1) 臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益(謝金、研究費、株式等)の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

## 11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

## 12. 疑問や質問があった場合の連絡先

この研究に関して疑問や質問があった場合は下記連絡先へ遠慮無く連絡をお願いいたします。

宮崎大学医学部附属病院整形外科

田島 卓也

電話 : 0985-85-0986

FAX : 0985-84-2931